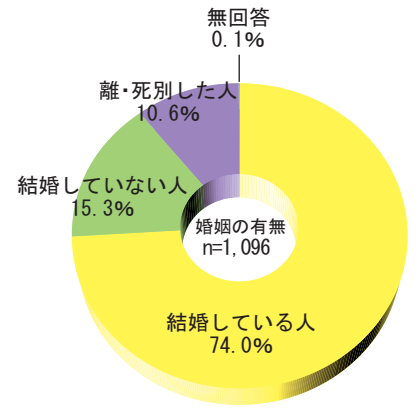
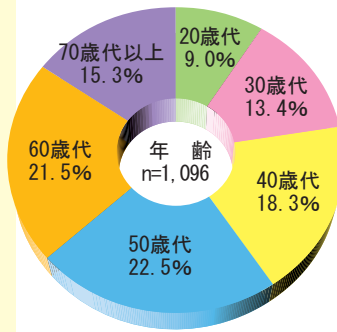
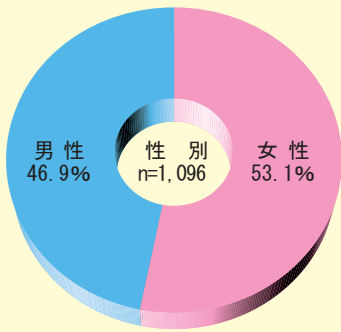


1 アンケート調査概要

- 調査目的：宮崎県における男女共同参画に関する意識と実態を把握し、今後の男女共同参画施策の一層の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として実施しました。
- 調査対象：宮崎県在住の20歳以上の男女3,000人(男女各1,500人)
- 調査時期：平成17年9月
- 有効回答数：1,096人(有効回収率36.5%)
- 回答者のプロフィール



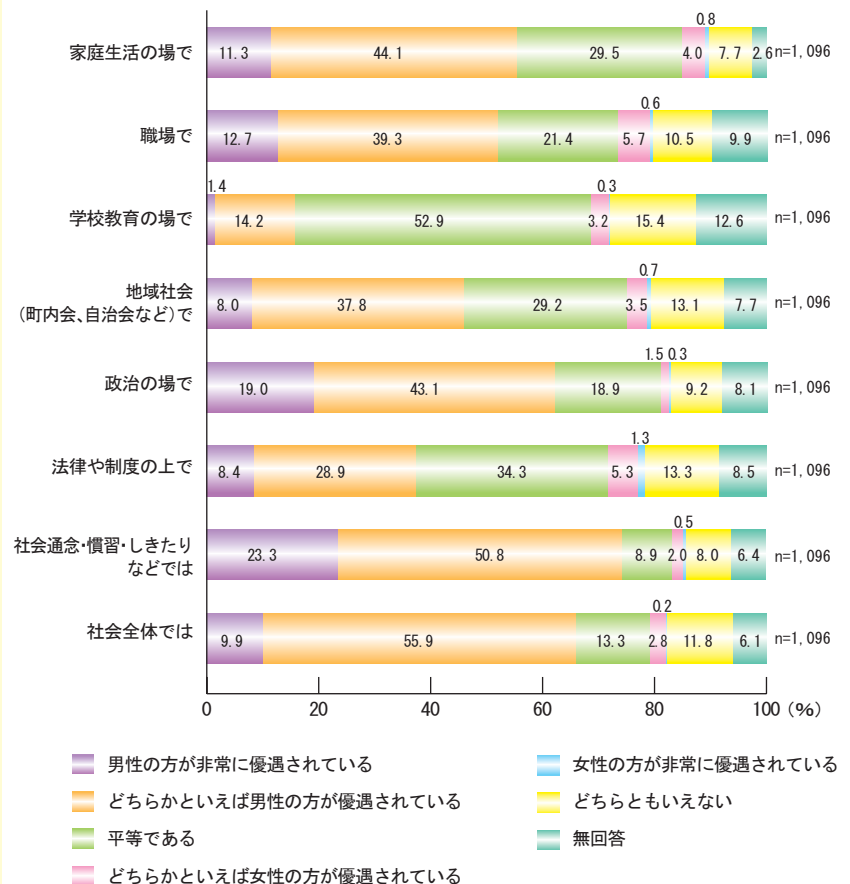
2 男女平等に関する意識

「学校教育の場」以外、あらゆる場において男性優遇感が強い

男女の平等感について、全体的に男性が優遇されていると思う割合が高く、特に「社会通念・慣習・しきたり」では、74.1%の人が「男性優遇」を感じています。

「社会全体」として「男女の地位は平等になっている」と感じる人は13.3%にとどまっています。一方、「男女の地位が平等になっている」と最も感じられているのは「学校教育の場」であり、過半数(52.9%)の人が平等感を持っています。

男女の平等感



この冊子の見方

- 百分率は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位までを示しているため、単一回答の回答比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問(グラフ上にMA=Multi Answerと記載)は回答比率の合計が100.0%を超えます。
- 各データの集計母数(人数)はnで示してあります。